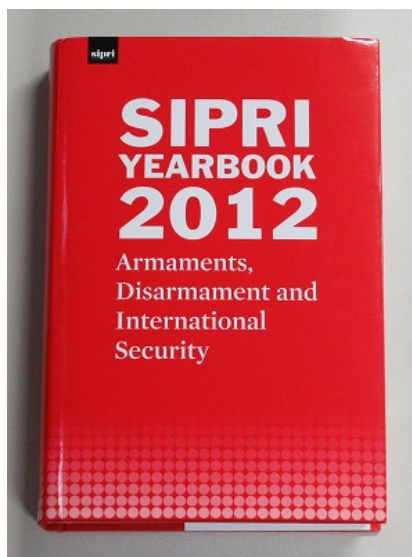


この度、弘前大学附属図書館文系図書整備5か年計画の最終年にあたり、学生の要望・利用頻度の高い国際関係分野の図書を補充したいとの有難い要請を頂戴した。そこで、学生たちの関心の高い分野を中心に選定をした。「戦争」「平和」「安全保障」「貧困」「開発」「地域主義・地域研究」「グローバル化」といった普遍性の高いトピックのみならず、東日本大震災以降、次々と出版されている震災復興やボランティア、原発・放射能問題に関する図書、アジア・アメリカ・欧州・中東政治など特定の地域を対象とした研究書を揃えることができた。ゼミ生らもこのプロジェクトに関わってくれ、学生側からの要望もリストに反映することができた。彼らはそのプロセスで「公費を扱うことの難しさ」も学んでくれたと思う。



「SIPRI Year Book 2012 年版」

今回の配架図書の中で出色は、スウェーデン・ストックホルム国際平和研究所発行の『SIPRI Year Book』である。この年鑑は、軍備や軍縮に関する世界的統計や報告を発表するもので、CiNii（NII 論文情報ナビゲータ）で検索するとわかるように、多くの大学図書館で継続配架されている。公費支出の原則として、高価な原語の専門書や、新書のような安価で本来自費で買うべき本は、今回のリストからできる限り排除した。しかし、国際政治・国際関係論を研究する上で重要な資料となるこの年鑑だけは、別格扱いをさせてもらった。このシリーズが並んでいることで、図書館書架の品格が上がることは間違いない。しかし、本は「使われてなんぼ」であろう。英語を嫌わず、是非、活用して欲しい。

何より、胸を張りたいのは、今回の整備事業で、国際政治・国際関係論系図書を納める書架の景色が一変したことである。一度、書架の前に立ち、この美しい景色を眺めて欲しい。Amazon でどんな国際関係論系書籍も手に入る今だからこそ、身体性をもって、「知の森」に遊んで欲しい。目的の本の隣に、思いもかけない素晴らしい本が待っているかもしれないのだから。

（カーペンター ヴィクター リー）

国際社会関係図書については、今年度中に約550冊購入し、本館2階開架図書の所定場所に配架します。

Library News

「阿仁鉱山関係絵図」デジタル版公開

附属図書館では、10月2日より、貴重資料に指定されている「阿仁鉱山関係絵図」のデジタル版（5枚）を附属図書館のホームページ内で公開しました。昨年の「津軽領元禄国絵図写」に続き2件目の公開となります。

阿仁鉱山関係絵図は、昭和40年、旧文理学部改組の際に、交付された機関研究の経費によって購入され、購入されたものです。なお、当該資料については、図書館報「豊泉」第34号5頁に詳細な説明があります。

知の宝！古本市～リユース・ブックフェア～を開催

附属図書館では、弘前大学総合文化祭期間中（10月27日～28日）に、「知の宝！古本市～リユース・ブックフェア」を附属図書館1階職員玄関前で開催しました。

この古本市は、図書館で不用となった図書を無料で譲渡し、再利用（リユース）していただく企画であり、平成19年から弘前大学総合文化祭期間中に実施しているものです。

会場には、多くの学生や職員、一般市民が来場し、興味のある分野の資料を次々と持ち帰っていました。今年は例年より一日少ない二日間の開催



となりましたが、約2,000冊の資料を新しい利用者に利用していただくことになり、大盛況の内に終了しました。

図書館のグループ紹介

企画管理グループ

図書館のグループ紹介第4回目は、企画管理グループについて紹介させていただきます。

企画管理グループは、文京町キャンパスにある附属図書館本館一階の事務室で、企画管理担当2名、出版会担当3名、資料館担当1名で業務を行っています。それでは、企画管理担当・出版会担当・資料館担当それぞれの主な業務についてご紹介します。

企画管理担当の主な業務は、附属図書館の予算や経理に関すること、会議や行事に関すること、いわば「附属図書館の縁の下での力持ち」といったところでしょうか。学生のみなさんが身近に感じるイベントとしましては、弘前大学学生『言語力』大賞コンテストがあります。毎年10月27日の「文字・活字文化の日」に発表をあわせて作品を募集しています。大賞作品には、豪華10万円の図書カードが贈られます！学生のみなさん、ぜひ来年の『言語力』大賞コンテストへの参加をお待ちしています。

続いては出版会です。学生のみなさんが授業で使っているテキストや参考書の中に、「弘前大学出版会」と書かれたものはありませんか？

出版会担当は、持ち込まれた企画の検討、原稿

のチェック、編集作業、出版された本の宣伝、在庫管理など、「本の制作・販売」に関わる業務を行っています。

出版会は平成16年に設立され、平成24年10月末時点で123冊の書籍を出版しています。これらはすべて図書館にありますし、弘大生協で購入することもできます（一部非売品もありますが）。この中には教員はもちろん、教員指導のもと学生が執筆した書籍もあり、また学生が表紙デザインをしている書籍も数多くあります。

・・・もしかしたら、みなさんの研究成果も書籍として出版されるかもしれません！

最後に資料館を紹介します。今年10月にオープンしたばかりの資料館は、「弘前大学 過去から未来へ」をテーマに前身各校の歴史をはじめ新制大学となってからの約60年間のあゆみ、各学部・研究科毎にコーナーを設けての歴史や研究成果の紹介、海外の大学との交流の歴史、世界的な業績を挙げられた方の紹介や歴代の弘前大学ねぶた絵を写真と3D映像で紹介するコーナーなどを設けています。入館料は無料ですので、みなさんの来館をお待ちしています。

（企画管理グループ係長 宮川 順子）